

平成 22 年度上水道事業会計当初予算（案）の概要

予算規模

収益的支出と資本的支出を合わせた予算総額は、1,115 億 4 千万円となり、前年度当初予算額と比較すると、22 億 4 千 2 百万円、2.0%の減少となっています。

(単位:百万円)(税込み)

区 分	22年度 当初予算案	21年度 当初予算額	対前年度比較		備 考
			増減額 (-)	比 率 /	
収益的収入	73,096	75,862	2,766	3.6 %	給水収益 64,524
収益的支出	68,785	70,156	1,371	2.0 %	給水申込納付金 4,912 人件費 9,219 減価償却費 20,817 支払利息 4,978
収支差	4,311	5,706	1,395	24.4 %	
消費税資本的 収支調整額等	1,182	1,155	27	2.3 %	
収支差益	3,129	4,551	1,422	31.2 %	(純利益相当額)
資本的収入	10,828	16,284	5,456	33.5 %	企業債 3,841 国庫補助金 1,592
資本的支出	42,755	43,626	871	2.0 %	建設改良費 20,103 拡張工事費 9,751 企業債償還 10,550
収支差	31,927	27,342	4,585	16.8 %	
支出予算計	111,540	113,782	2,242	2.0 %	

資本的収支における 31,927 百万円の不足額は、消費税資本的収支調整額 1,178 百万円、過年度及び当年度損益勘定留保資金（減価償却費など）30,749 百万円で補てんします。

主要事業の実施目標

- 1 より良質なおいしい水をいつでも安心して利用できる水道を目指します。
- 2 現行料金を維持できるよう経営基盤の強化を目指します。
- 3 お客様に、より一層信頼される水道を目指します。
- 4 地震等の非常時にも強い水道を目指します。

平成22年度主要事業の概要

水道局では、「千葉県水道局中期経営計画」の最終年の仕上げとして4つの目標の達成に向けた事業を展開することにより、安全で良質な水を安定的かつ廉価で供給するという水道事業の使命を果たしてまいります。

目標1 より良質なおいしい水をいつでも安心して利用できる水道

〔1〕浄給水場の老朽化した施設設備等を計画的に更新することにより、良質な水道水の安定供給に努めます。

	総額4,470百万円
誉田給水場中区系ポンプ用電気設備更新	580百万円
北船橋給水場施設設備更新	2,184百万円
北総浄水場 "	921百万円
	など

〔2〕給水の安定化や配水区域間の水の相互融通を図るため、送配水管を整備します。
また、老朽化した配水管の計画的な更新や、国・県及び市町村の行う公共工事に際して支障となる既設管の移設等を行います。

	総額10,804百万円
送配水管整備工事（布設延長10.5Km）	1,371百万円
配水管更新工事（布設延長32.8Km）	5,429百万円
公共関連等配水管整備工事（布設延長23.0Km）	4,004百万円

〔3〕配水本管から分岐する鉛給水管をポリエチレン管に更新し、水道水の安全性を高めるとともに漏水を防止します。

鉛給水管単独更新工事（1万3千4百本）	総額4,012百万円
---------------------	-------------------

〔4〕蛇口での残留塩素の低減化を図るため、水質自動監視装置設備工事等を行う他、おいしい水づくりに向けた各種施策を継続して展開します。

	総額311百万円
水質自動監視装置整備工事	260百万円
残留塩素の低減化調査業務委託	23百万円
	など

目標2 経営基盤の強化

〔1〕年賦未償還残高の縮減と後年度における支払利息の節減を図るため、年賦償還金の繰上償還を行います。

年賦償還金の繰上償還

総額1,170百万円

〔2〕老朽化した北総浄水場排水処理施設の更新は、今年度からPFI事業者が設計・建設を行います。

北総浄水場排水処理施設PFI事業アドバイザー業務

総額2百万円

目標3 お客様に、より一層信頼される水道

〔1〕県営水道の未普及地区のお客様の要望に応えるため引き続き配水管の整備を進め、水道の普及促進に努めます。

未普及地区配水管布設工事（布設延長13.3km）

総額850百万円

〔2〕基幹系ネットワークの維持管理などの情報化の推進による情報セキュリティの適正な管理に努めます。

総額208百万円

基幹系ネットワークの維持管理

84百万円

情報系ネットワークの負担金

94百万円

など

目標4 地震等の非常時にも強い水道

〔1〕地震等の災害に備えるため災害用給水設備の整備を進めます。

浄給水場施設の給水設備の整備

総額26百万円

〔2〕耐震性強化のため、浄給水場の耐震化、管路の新設・更新工事を進めます。

総額939百万円

浄給水場震災対策

77百万円

石綿セメント管更新（布設延長0.4km）

38百万円

第二北総～成田線送水管布設事業（布設延長1.8km）

820百万円

など

企業債残高等の状況

財政状況を見極めながら企業債の借入を極力抑制し、経営の健全化をより一層進められるよう、企業債残高の圧縮に努めます。

これにより、平成22年度末の企業債残高は、平成21年度末の2,094億5千4百万円から67億9百万円減少し、2,027億4千5百万円となる見込みです。

企業債残高等の状況

(単位：百万円)

平成21年度末 残高見込 (A)	平成22年度当初予算案		平成22年度末 残高見込 (A + B - C)
	借入額 (B)	償還額 (C)	
209,454	3,841	10,550	202,745